

事業報告書 (平成 29 年度)

事業名 大野川で自然と私達の暮らしを学ぶ

団体名 大野川いい川づくり 代表者名 河太勝子

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

(1) 大野の地元家庭排水の浄化の炭の取り換え

4月8日 9:00~12:00 御津虎倉大野地区 地元住民3人

6月前に設置した炭袋を取り出し、新しい炭を入れて設置した。

(2) 筍掘り体験

5月3日 10:00~13:00 大野地区の竹藪 市内他の方 40人

筍掘りの体験していただき、湯がいた筍を持って帰ってもらった。

(3) 竹灯籠と廃油蠟燭づくり

5月18日 9:00~15:00 大野公会堂 8人

竹藪から竹を切って帰り、竹を加工して灯籠と蠟燭の器を作り、廃油で蠟燭を作った

(4) 大野川 蛍の鑑賞会

6月17日 18:00~21:00 大野公会堂付近 地域及び岡山市の方 73人

竹灯籠を大野川沿いに設置し夕方に灯籠に点灯し安全確保し、ほたるの鑑賞をした

(5) 七夕を作り

7月17日 9:00~13:00 大野公会堂 地域及び岡山市の方 21人

七夕飾りを作り、笹に取り付け大野川沿いに飾った。

(6) 大野川 川遊び

8月20日 9:00~13:00 大野公会堂付近 45人

親子で川に入り小さな魚を網ですくい、サワガニやザリガニを捕まえて遊びました。

(7) 家庭排水浄化と大野川水質調査

9月10日 9:00~13:00 大野地区 大野地域及び岡山市の方 大野川 9人

4月に取り付けた、炭袋と新しいのと取り換える 水質調査は大野川の6か所の水を取り2班に分かれパクテストを使いCOD、PH 亜硝酸態窒素を調べる。

(8) 大野川生き物調査会

10月8日 9:00~14:00 地域及び岡山市の方 大野川 31人

始める前に先生に注意事項など聞、川に入り生き物を次々採取した 今回は高校生がおられるのでホタルの幼虫も見つかりました。

(8) お飾りづくり

11月5日 真庭市落 勉強のため習いに行く 2人

(9) 川掃除 慰労会

12月3日 13:00~18:30 大野地区 大野公会堂 地元住民 10人

川掃除を3時間程度流木やごみを拾い雑木伐採をする。その後些細な慰労会をした。

(10) とんど 新年会

1月14日 9:00~12:00 大野源流の碑の前準備 地元住民 源流の碑の人
13:00~14:00 書初め 14:00~16:00 とんど 16:00~新年会 16人

(11) 2月5日 11:00~12:00 大野川 1人

ヒヤシンスの水耕栽培 今年の球根を筏に植え付け川に浮かべた 川には薄い氷が張っていました。

(12) ひな祭りの予定

竹を使った雛がんを作る予定

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

現在は物が豊富な生活になれているので、自然が破壊したら生活が出来なくなる恐れが、起きるのではないかと心配です。今ある資源を使い生活ができるようなことをこれからの人は知っておいたらと思います。山の木を伐り炭を焼いて燃料にすること、撒きで煮炊きできること、土地を耕し作物をつくることなど田舎で体験してみたらよいのではと思います。今年は、参加されるかたも多く田舎ならできることを体験してもらえました。

できれば、もつといろいろな体験をしてもらいたいです。

他の組織の協力もあり参加者が増えました

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

自然に触れのんびりと過ごせる時間を堪能していただいた。

幼い子供たちは、全てが珍しく目を輝かしています 芋ほり体験では大きな芋が取れた時の何とも言えない、笑顔は宝物だと思います

蛍の鑑賞会は、皆さん沢山の飛舞には驚かれる。

大野地区より2キロ下流では多くの方か毎日のように猛禽類を見に来られています。

参加者の声 「上流の方の苦勞で私達の飲む水が安心して飲める」など口々に自然の大切さを実感されます

4. 今後の課題と展望

地元住民が少ないのでできるだけ不断の掛からなくして、多くの方に長く来ていただけるように工夫してみようと思います。

田舎でできる体験をすこし増やしたいと考えています。